大仙市立西仙北中学校

# 羽ばたこう　立志の丘から

学校通信

平成２７年５月１１日
No.4

## 2015　NISHISEN陸上　開催

４月２８日（火）、快晴の下、「２０１５　ＮＩＳＨＩＳＥＮ陸上　兼　郡陸上選手選考記録会」を行いました。

事前の選手選考や当日の競技、また、応援や役員としての務めを果たすことなどを通して学級づくり、また学校づくりを行い、学級や学校に貢献する喜びや達成感を味わうことなどをねらいに開催しております。

昨年からは、各学級でアイディアを出し合って、お揃いの学級Ｔシャツをつくり、学級の団結を図っています。

競技は全校生徒が１００Ｍと、女子生徒全員が１０００Ｍ、男子生徒全員が１５００Ｍを走ります。そして、選手制で、６０Ｍハードル、走り幅跳び、走り高跳びが行われ、午後からは、大綱引きのまちらしく学級対抗の綱引き、学級対抗の全員リレー、学級代表４名による最強リレーと続きました。最後は、様々な衣装とコンセプトをもった部活動対抗の芸走リレーで締めくくりました。

郡市陸上競技大会の選手選考も兼ねて行っておりますので、記録をねらって颯爽と走る生徒もいます。学級のために全力疾走する生徒もいます。自分の記録との戦いで、最後まであきらめずに走り抜く生徒もいます。

何よりも、学年も学級も関係なく、周回遅れになっても力を振り絞る友達に、みんなが応援する姿に感動しました。

天気もすばらしかった。吹く風もさわやかだった。生徒たちの一生懸命な姿、友達に贈る声援が一番かっこよかった一日でした。

生徒は記録への挑戦とともに、学級のまとまりを一層強くした一日で、満足できたという感想発表でした。

## 開校記念日　練習試合真っ盛り

５月１日は、開校記念日でした。平成２４年統合開校した本校も開校４年目を迎えました。

生徒たちのがんばり、保護者や地域の方々、また関係機関等の支援により、これまで順調な歩みを重ねてきています。記念日を機会に、また新たな気持ちで進んでまいりたいと思います。

さて、生徒たちは連休をそれぞれの活動や計画により過ごしました。部活動の練習や試合等も多く予定されましたが、自分の時間や家族とのふれあいの時間ももてたことと思います。全国的には真夏日の報道もありましたが、気候的にもさわやかな季節で、祭典があった地域もあり、リフレッシュできたようです。

今年の桜は開花が早く，連休中は葉桜になってしまいましたが、本校の練習試合は今が真っ盛りという様子でした。

５月２日には、バスケットボール部は２校が、卓球部は３校が、そして、野球部は２校が来校して練習試合をしておりました。バレーボール部とソフトテニス部はそれぞれ市内の学校やテニスコートに出かけておりました。また、バドミントン部は山形遠征で練習試合や大会に臨んでおります。吹奏楽部も熱心にパート練習等を行っておりました。

## ３年阿部君　全県大会で準優勝

３年生の阿部真己君が、第４４回秋田県空手道連盟剛柔会全県空手道選手権大会の中学生男子個人形の種目において、堂々の準優勝を果たしました。この後の大会でも入賞が期待されます。

## バレーボール部　桜杯　準優勝

そのような連休中の活動で、５月２日（土）・３日（日）に行われた南外桜杯バレーボール大会に出場した、本校バレーボール部は１０チームで争われた大会において、準優勝に輝きました。バレーボール部をはじめ、各部ともそれぞれ目標を掲げ、チーム力をアップしております。ご声援お願いいたします。

## 本校出身　本間選手　能代カップで躍動

本校出身で、宮城県明星高校１年生のバスケットボール部員本間選手が、５月６日（水）の秋田魁新報で紹介されております。能代カップで３連覇を遂げた明星高校において、１年生ながらベンチ入りし、大会２日目の愛知県桜丘高校戦では第４クォーターに出場、９得点をあげております。本間選手は中学校時代もエースとして活躍、大曲仙北中学校春季大会初優勝の原動力でした。身長１８８ｃｍ、３ポイントやミドルシュートが得意で、「ずば抜けたシュートセンスの持ち主で今後の成長が楽しみ」（西仙北中学校バスケットボール部監督　佐々木　教諭　談）な選手です。今後の大きな飛躍を期待するとともに、その活躍によって後輩たちに力強いエールを送ってくれることと思っております。

## 招待野球　優勝

５月５日（火）に横手北中学校の招待野球大会がありましたが、参加した本校野球部は、２試合とも完封で接戦をものにし、見事優勝しました。春季大会の頃からチームの形ができつつあるように思います。夏までのさらなる成長を期待します。

## 生徒総会・ＪＲＣ再登録式・news　NISHISEN

５月８日（金）、生徒総会及びＪＲＣ再登録式並びに「news　NISHISEN」が行われました。

生徒総会に先立って、ＪＲＣの創始者アンリ・デュナンの誕生日という記念日に登録式が行われました。佐々木ＪＲＣ委員長が、青少年赤十字の一員となった誇りと自覚をもって、本校では奉仕の精神でアルミ缶回収等を行い、福祉施設への車椅子の寄贈などを継続していきたいので協力してくださいとあいさつし、全校生徒で「誓いの言葉」を唱和しました。

生徒総会では、斎藤会長のあいさつに引き続き、議長団が選出され、生徒会会則を確認の上、議事が進められました。今年度の生徒会テーマ

**「ＮＥＸＴ　ＧＥＮＥＲＡＴＩＯＮ**
**～確立せよ　新たな伝説を**
**刻め　創立４年目の歴史を～」**

が承認され、このテーマに則り、今年度の活動が展開されることになりました。その後、執行部をはじめ各委員会の活動計画等が報告され、質問・意見・要望等を踏まえ、審議されました。予算案も承認され、本格的な活動に入ります。

また、総会後にキャスター２名、コメンテーター１名による「news　NISHISEN」が発表されました。そこで今年度、生徒会として、便利なツールであるスマホや携帯電話の使い方を考えるとともに、社会的に課題が指摘されているＳＮＳなどの情報モラルの在り方を、みんなで考えていくことが確認されました。便利なツールをいかに活用していくか、十分に考えていきたいものです。

## テニスコート横　駐車場として整備中

昨年度は、西部学校給食センター（西部わくわくランチ）建設工事に伴い、体育館への出入りや陸上競技大会時には、大変ご不便をおかけしました。このたび、西部わくわくランチが予定どおり完成し、子どもたちに毎日おいしい給食を提供してくれております。

さて、西部わくわくランチが建ったスペース分、郡市陸上競技大会等での駐車場の台数確保が課題となっておりましたが、このたび、大仙市教育委員会で、本校テニスコートの横、西部わくわくランチの向かいを駐車場として整備してくれております。大変ありがとうございます。

５月１９日（火）・２０日（水）に予定されている、今年度の郡市陸上競技大会も、これで駐車等の心配が少なくなり、安全に大会が運営できることと思っております。